

令和3年度 事業報告書

公益財団法人鍋島報効会

当会は佐賀県下における文化及び教育の振興に資し、かつこれを奨励助成するとともに社会事業に貢献することを目的としており、目的達成のため以下の4つの事業を行った。

公益目的事業

公1 [I] 登録博物館「徴古館」の運営 (定款第4条第1項第1号に定める事業)

1) 展示公開事業

a. 企画展

旧佐賀藩主・侯爵鍋島家伝来の当会所蔵資料を紹介する展覧会を3回開催した。開館日数は年度で157日間。若年層を含む多くの県民にとって、より親しみやすい展示内容となるよう、日曜・祝日を開館し、無料対象を小学生以下から中学生以下に引き上げる料金改定を行い、来館者の利便性向上を図った。広報については、チラシ等の配布先に県内各学校を加え、SNSによる発信を強化することで若年層にも情報を得やすくし、また展示資料や徴古館自体の紹介動画を制作・配信するなど、来館者のみならずウェブ上でも収蔵資料や展示内容を知ることができる機会を提供した。

① 第94-95回展「しってる! しらない? 鍋島家伝来品のいろは」

【江戸時代編】 会期: 7月27日(火)～10月3日(日) 入館者数: 488人

【明治以降編】 会期: 10月26日(火)～12月26日(日) 入館者数: 741人

令和3年度に新たに佐賀県指定重要文化財となった「鍋島直大像」をはじめとする鍋島家伝来品の中から、隠れた見どころを知っていただきたい資料を選出し、「江戸時代編」「明治以降編」の2期に分けて公開した。「徴古館を初めて訪れた方も「しってる」ポイントを見つけながら「しらない」ことを楽しめるように」をコンセプトとし、鍋島家伝来品にまつわる意外なエピソードや共通点、県指定重要文化財になった理由など、多様な視点から親しみやすく見どころを紹介した。来館者アンケートによると、初めての来館者が全体の68%、「とても満足」と「満足」が91%であり、若年層を含まないいわゆる「潜在層」へのアプローチが一定程度は奏功し、満足感のある展示内容を提供することができたと言える。

② 第96回展「鍋島家の雛祭り」

会期: 令和4年2月11日(金)～3月21日(月) 入館者数: 1,523名

有職雛や次郎左衛門雛、銀製雛道具など、明治から昭和初期の侯爵鍋島家歴代夫人が愛でた雛人形・雛道具を中心に500点を展示した。また、特集展示として男雛や女雛、三人官女や五人囃子などの御人形が手にしている御道具の等身大サイズのもの(実際に人が用いるもの)8点を展示し、雛道具と見比べながら鑑賞できる機会を提供した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため「佐賀城下ひなまつり」の開催は中止となり、徴古館単独での開催となった。

b. 講演会 新型コロナウイルス感染症対策のため、講演会は開催しなかった。

c. イベント

① 第26回プレイエル小音楽会

日時: 令和3年12月12日(日) 11時/14時(2回開催) 演奏者: 大坪健人氏 参加者: 58名

鍋島紀久子様(13代直泰夫人)の婚礼調度のピアノ「プレイエル」の音色を楽しむ小音楽会を開催した。プレイエル社製のピアノを愛用したショパンのほか、ベートーヴェンやモーツァルト、リストの曲が演奏され、さらに演奏者自身によるトークで曲や作曲者について理解を深めながら聴くことができる演奏会となった。但し、席数は例年の約半分とすることで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めると同時に、演奏の様子を動画で無料配信し、演奏会参加者の約4倍にのぼる視聴回数を得た。

② 第12回香道体験会「初春の香りを楽しむ」

新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止とした。

③ お箏の音色・茶花展

期間: 「鍋島家の雛祭り」展開催期間の土曜・日曜・祝日(計15日間)

協力: 箏演奏: 箏曲穂波会/茶花展: 松風会室町御流

1)-a-②「鍋島家の雛祭り」展にあわせ、徴古館2階でお箏の演奏会と茶花展を開催し、来館者に年中行事の雛飾りとともに和の伝統文化を楽しんでいただいた。なお、呈茶は感染症拡大防止のため中止した。

2) 調査研究事業

a. 調査研究活動

- ① 1) - a 企画展開催に伴う資料調査を行った。
- ② 鍋島家文庫のうち藩士褒賞の記録「褒賞録」および関連資料のデータ整理、編集作業を行い、PDFデータを『佐賀藩 褒賞録 第二集』としてまとめた。また、従来より継続して藩士名簿のデータ整理、入力作業を行った。
- ③ 専門家に委託し、13代鍋島直泰氏収集蝶標本の整理作業を行い、目録をPDFデータおよび冊子の形でまとめた。

b. 歴史・文化体験活動

- ① 「市報さが」連載 10代佐賀藩主鍋島直正公が長女貢姫に宛てた書簡について、「市報さが」毎月一日号で12回にわたり連載し、収蔵資料について、その研究成果とともに市民に広く紹介することができた。
- ② 展示作業体験 1) 展示公開事業 - a. 企画展に関連し、佐賀大学でキュレーションを学ぶ大学生3名を対象に、当会学芸員の指導のもと「鍋島家の雛祭り」展に出品する雛人形や雛道具の展示設営作業体験の機会を提供した。
- ③ 佐賀城下探訪会 当会が構成団体として参画する「さが城下まちづくり実行委員会」による佐賀城下探訪会は実施しなかった。

3) 収蔵保管事業

- ① 温湿度管理 収蔵庫は24時間機械空調による温湿度管理を実施した。庫内の温度センサーおよび湿度センサーに経年劣化の兆候が見られたため、取替工事を行った。
- ② 保守点検 収蔵庫空調設備の保守点検及び消防点検を年2回実施した。
- ③ 資料殺虫処理・環境調査 新規受入資料の殺虫処理を行ったほか、害虫や黴類による収蔵資料への被害を未然に防ぐため、庫内の環境調査を行った。
- ④ 災害対策 大雨浸水対策として、資料保管場所の移動、床置資料の嵩上げを行った。

4) 施設の貸与及び保全

a. 施設の貸与

- ① さが城下まちづくり実行委員会定例会(4回) / さが城下まちづくり実行委員会
- ② 松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会 準備会議(2回) / 佐賀市歴史・世界遺産課
- ③ 松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会(2回) / 佐賀市歴史・世界遺産課
- ④ 科学研究費基盤研究B「戦前期東京における住宅開発と生活空間の変容—東京府渋谷区を事例に—」
収蔵資料調査・撮影 / 國學院大學研究開発推進センター

b. 徴古館の保全

2階ベランダ部分からの雨漏りが確認されたため、漏水防止措置を行った。屋上防水の状態確認のための調査を行い、将来的な工事に向けた施工計画・積立計画を立てた。また展示室入口等に設置する止水板を導入し、大雨による水害への備えとした。

公1 [II] 史跡等の保存事業及び顕彰事業 (定款第4条第1項第2号に定める事業)

史跡等の保全のため、以下の8件について除草・枝木伐採を実施し、訪問者により良い環境を整えるとともに、水害対応を行った。また、数年に一度規模の枝木伐採や除草、大雨や台風時の落下枝木の撤去を行った。

- 1 鍋島家春日御墓所
- 2 十可亭跡公園
- 3 高傳寺墓所及び御位牌所 (佐賀市史跡)
- 4 鍋島直茂誕生地・胞衣塚 (佐賀市史跡)
- 5 築地反射炉跡記念碑 (佐賀市史跡)
- 6 万部塔と六地藏 (佐賀市史跡)
- 7 弘道館記念碑
- 8 善応庵墓所

公1 [III] 研究助成事業 (定款第4条第1項第3号に定める事業)

令和3年度(第21回)は、以下の3件を対象に710,000円を助成し、1年間の研究成果が令和4年5月末までに報告された。研究成果は、令和4年度開催の研究報告会および令和5年度刊行の研究報告書で公開予定。

- 1 丸島 和洋 (東京都市大学 共通教育部 准教授)

「佐賀藩士深江氏旧蔵文書の復元による「家意識」の検討」	助成額	220,000円
2 中西 義昌（北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員） 「東肥前から見た戦国期筑紫氏の研究 ―文献・城郭史研究の観点から」	助成額	240,000円
3 野下 俊樹 ほか4名（福岡大学大学院 人文科学研究科 史学専攻 博士課程後期） 「中世後期有明海沿岸地域の学際的研究 ―佐賀平野の構造的特質」	助成額	250,000円

令和2年度(第20回)の研究成果報告会を令和3年11月25日にオンラインで開催し、動画配信により広く公開した。また令和3年度には、令和元年と2年度の2か年の研究成果をまとめた『公益財団法人鍋島報効会研究助成研究報告書 第10号』の編集・発行を行った。

なお、令和4年度研究助成の選考委員会は令和4年2月14日に開催し、論文コース3件、4年度より新設する探究活動コース(佐賀県内で行われる、児童・生徒・学生による研究行為に準ずる探究活動に対する助成)2件を決定した。

公1 [IV] 一般助成事業（定款第4条第1項第3号及び第4号に定める事業）

以下の8件の団体を対象に1,560,000円を助成し、各事業の遂行に寄与した。

1 松浦党研究連合会／研究誌『松浦党研究』の刊行費補助	助成額	100,000円
2 公益財団法人佐賀育英会／松涛学舎の鍋島文庫図書整備費	助成額	100,000円
3 佐賀県中学校体育連盟／大会の入賞盾及び優勝旗2本新調費	助成額	270,000円
4 佐賀美術協会／佐賀美術協会展での「鍋島報効会賞」4部門への授与	助成額	80,000円
5 佐賀植物友の会／機関誌『佐賀の植物』発行費及び調査研究活動補助	助成額	350,000円
6 佐賀自然史研究会／会誌『佐賀自然史研究』発行費補助	助成額	100,000円
7 佐賀ん町屋ば甍らす会／松原神社参道での町おこし活動費	助成額	360,000円
8 一般社団法人佐賀県空手道連盟／ジュニア育成のための強化費補助	助成額	200,000円

なお、令和4年度一般助成の選考委員会は令和4年2月14日に開催し、8件に決定した。

収益事業

収1 不動産賃貸等に関する事業（定款第4条第1項第5号に定める事業）

1) 不動産賃貸

下記参考資料の通り、収益事業における収入は前年度比307,702円の減少となり、収入全体における0.6%の軽微な差異となった。内訳としては家賃収入の減少幅が昨年度比10%超となっているのは、新型コロナウイルス感染症の影響により一部家賃の値下げを行ったことによる。

2) 徴古館におけるミュージアムグッズの物品販売

過去の徴古館展覧会図録のほか、収蔵資料の絵葉書、収蔵資料の模様やデザインを用いた「鍋島小紋柄折り紙」・「一筆箋」などのミュージアムグッズを販売した。また、第96回展「鍋島家の雛祭り」の期間限定商品として、次郎左衛門雛のイラストの焼印を施したオリジナル丸ぼうろを製作・販売した。

3) 公益目的事業以外の施設貸与

- ・一般社団法人佐賀県空手道連盟役員会

4) その他

土地に付随する収入として、松原公園管理料(佐賀市からの指定管理)を収受し、年間を通じて公園管理を行った。松原公園第2期整備については、事業実現に向けて佐賀市と協力関係を保ち協議を行った。

参考) 収益事業における主な収入

	(令和3年度実績)	(前年度比 円)	(%)
貸地料収入	15,338,040円	78,400円	0.5% (増加)
家賃収入	9,546,450円	-1,180,410円	-12.4% (減少)
駐車料収入	29,345,594円	422,356円	1.4% (増加)
雑収入	1,306,134円	371,952円	28.5% (増加)
計	55,536,218円	-307,702円	-0.6% (減少)